

ダニの予防が大事！

～ダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の発生～

令和3年3月5日、静岡県で重症熱性血小板減少症候群(以下、SFTS)のヒトでの感染情報の提供が、厚生労働省健康局結核感染症課からありました。

近年、春先の野山での山菜摘みやアウトドア志向の高まりのなか、マダニの媒介する人獣共通感染症であるSFTSのヒトでの発生がみられ、さらに犬や猫の診療等を介した獣医療関係者の感染も報告されています。

また、県内では牛、近年はヤギも放牧飼育が行われており、草地の草の繁茂するスプリング・フラッシュとともにマダニの媒介する牛等のピロプラズマ病の発生がみられるようになり、ピロプラズマ病の予防投薬や体調不良家畜の治療が行われており、その際にもSFTSの感染リスクはあります。

県の調査では、マダニは季節を問わず年中生息していますので、愛がん動物の犬や猫の通年での予防を確実に行うとともに、特に猫については屋内飼育を徹底し屋外への解放を控えるようお願いいたします。

さらに、体調不良の動物等と接する機会の多い獣医療関係者等にあつては、手袋・防護衣等による感染予防措置を徹底されますようお願いいたします。

ワンちゃんネコちゃんの SFTS 予防

準備よう！

マダニが媒介する
ウイルス感染症

SFTS

マダニが運ぶウイルス感染症SFTS
(重症熱性血小板減少症候群)の発生
エリアが西から東へ拡大しています。

2020年某に埼玉でSFTS
症例が確認されました。
(2019年10月17日 - 2020年1月17日)

マダニ対策は
ツチノコちゃん！

マダニ対策
ツチノコちゃん

ヒト・犬・猫いずれかのSFTS症例の報告があった地域
(※ 2019年10月17日 - 2020年1月17日)

マダニからSFTSウイルスが検出された都道府県
(SFTSウイルスの検出は、2019年10月17日 - 2020年1月17日)

愛犬・愛猫へのマダニ対策は、
飼いさまの健康を守ることもつながります。

マダニ対策につきましては、動物病院へご相談ください。

ヒトの情報をさらに知りたい方

詳細については、次のホームページをご覧ください。

静岡県ホームページ

[「重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)患者の発生について」](#)

厚生労働省ホームページ:

[「重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)について」](#)

[「重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A」](#)

岡山県獣医師会のホームページの[「SFTSに関する情報」](#)からもアクセスできます。

獣医療関係者の感染防御対策にご理解ください

(手袋・マスク等)

動物から人に感染する病気があります。獣医療関係者は動物の処置を行う時に、このような病気から身を守るために、个人防护具(PPE)を着用する必要があります。



動物から人に感染する病気の例

- ◆重症熱性血小板減少症候群(SFTS)
ウイルスを保有しているダニに咬まれると感染します。また、人はSFTSに感染した犬や猫からも体液等を介して感染することが報告されています。
- ◆バズツレラ症、猫ひっかき病、カブノサイトファーガ感染症、エキノコックス症、ブルセラ症等

个人防护具(Personal Protective Equipment,PPE)とは

- 動物の血液、体液、分泌物、排泄物に感染性物質が存在することがあります。獣医療関係者の皮膚を守り、衣類の汚れを防ぐために、白衣やガウン、エプロン等を着用します。
- 血液や体液、粘膜、傷のある皮膚等に触れる際は、手袋を着用します。
- 血液等のしぶきが発生する可能性がある処置をする場合は、目、鼻、口の粘膜を守るために、マスク、ゴーグル、フェイスシールドを着用します。



手袋 マスク 白衣またはスクラブ

動物由来感染症の詳しい情報については、厚生労働省ホームページをご覧ください。

 [動物由来感染症 厚生労働省](#)

 厚生労働省  いのちみつめる、いのちを守る。 公益社団法人 日本獣医師会